

成東駅空襲調査・「戦争と平和を学ぶ会」(匝瑳市)参加・交流記録

2016.2.7

伊藤章夫

はじめに

この調査・交流は2016年2月6日(土)実施した。調査に先立ち、千葉寺の長谷川治三郎(空襲被爆死された元成東駅長)の墓参をした。

成東駅空襲の犠牲者数は県下で第3の規模であり、千葉空襲、銚子空襲の三つを関係づけて、調査運動、援護法制定運動や、次世代に記録を残しておきたい。この調査・交流は、2012年1月29日東総歴教協(千葉県東総歴史教育者協議会)主催の銚子空襲の集い(旭市飯岡ユートピアセンター)に次ぐ取り組みである。この調査・交流で銚子空襲の現地を見学し、両市民団体として空襲平和姉妹都市の関係を結んでいる。

匝瑳市ふれあいセンターの集いは、東総歴教協主催で講演「九十九里の米軍基地について」であった。残りの時間で千葉市空襲の平和市民団体が交流の位置づけで千葉市刻銘碑、空襲被害者援護法制定運動の訴えをさせてもらった。千葉からの参加者は大越幸伍、永島(運転)白井進、河合節子、岡崎鉦太郎、佐藤昌男、千葉通子、伊藤章夫の計8人。訪問先は、成東駅前碑、本行寺、元倡寺、山武市歴史民俗館、匝瑳市民ふれあいセンター。大越車経費3000円、資料代4000円は参加者が負担した。なお、1月19日、伊藤と岡崎が成東駅空襲を事前調査した。

1. 成東駅空襲調査

(1) 成東駅

成東中央公民館で、竹内栄次郎・竹内規久枝さんが説明した。

①竹内規久枝証言

私は、当時 5 年生 10 歳で、成東駅から約 1km 離れた山陰の家に住んでいた。この辺りは空襲警報が発令されても空襲はなかった。空襲はなかったので、警報が出ても庭であそんでいたが、大きな爆撃音で夢中で防空壕に入った。爆風は障子戸を吹き飛ばした。落下物があった。駅は、立ち入り禁止になっていた。友だちの話では、近くの部落の人たちは、後片付けに動員されたと聞いた。佐倉駅の人が非番でいたが、駆けつけて重傷を負った。負傷者は波切不動の前の医院の庭に収容されたが、医師は助かる人と助からない人に分けて治療した。当時この地域に病院はなかった。私は惨憺たる光景の記憶はない。元倡寺に駐屯していた顔見知りの宮田中尉が貨車空襲を聞いて家の前を必死の形相で自転車に乗って駅に駆けつけるのを見た。消火活動中、弾薬爆発の犠牲になった。この列車は長野県から来ていた。犠牲になった戸田助役も顔見知りであった。私は銚子空襲も、銚子の方から教科書の灰が飛来して来た事を覚えている。犠牲になった軍関係者の中に 2 人の除隊者(不詳のために碑に刻銘されていない)がいた。除隊者は軍服を返上するので、靴はなく草鞋でバンドもなく紐でズボン縛っていた。8 月 13 日空襲、15 日終戦(敗戦)の後、17 日に軍隊だけの法事が行われた。

②成東駅前

駅の碑文には昭和 20 年 8 月 13 日(土) 11 時 40 分に「機銃掃射による」空襲が始まり、火災の起こった貨車を「隔離消火」したが、11 時 58 分に爆発したとある。この 18 分の間、関係者も避難すれば駅員、将兵の生命が失われなくてすんだ。碑は、死を美化しており、「悉く壮烈な最後を遂げ」「殉職」と描いている。

(2) 本行寺

寺の境内の碑には、「被爆殉難者」とある。15人の犠牲者の名前があり、内3人は女性である。他の石碑に「石井四郎書」の「技手」の墓がある。千葉県山武郡出身の石井四郎中将は第731部隊の責任者である。本行寺から崖上の波切不動が見える。

(3) 元倡寺

寺の境内に、頭部だけの「忠霊」碑がある。裏面に死亡した将兵の氏名が刻銘されている。

(4) 山武市歴史民俗資料館（一部竹内栄次郎さんの下線部の証言を加えた）

稲見英輔主査（50歳）の説明の概要を記す。彼は知識が豊富で熱心であった。彼は考古学が専門であるが、戦争についても研究している。山武市（「さんむ」し、山武郡と山武町は「さんぶ」と発音する、インターネットから）は、3町1村の合併により誕生している。山武市の周りに、当時3つの飛行場があった。これは米軍の上陸作戦に備えての配置であった。県内17-18箇所の飛行場があった。飛行場が米軍に占領されないように、周辺に第33戦車連隊を配備している。戦車を隠す壕作りに地元が動員されている。

忠魂碑の研究をしたが、日本は戦争をしながら近代化している事がわかる。西南戦争では、西郷隆盛軍と有栖川宮熾仁（たるひと）親王軍の戦いでは、小銃で武装した農民出身の軍隊が刀と槍で武装した武士階級の軍隊を破る。死者を葬るのが忠魂碑である。アメリカ軍のムスタングは性能がいい戦闘機であるのに対して、司偵（百式司令偵察機に機銃を搭載した武装司偵機）でも勝てなかった。栗山飛行場の上空の2式高等訓練機（車輪が翼に収納されない）が迎撃して、日本軍11機、米軍2機が墜落している。全体では日米の損失割合は20

対 100 程度であった。成東駅空襲後もアメリカの上陸作戦に備えて、駅のクレータ状の穴を、翌日には、津田沼の鉄道連隊を動員して埋めさせた。終戦後、双発の百式司令偵察機（最大速度 630km/h）が多く残っていた。そこに飛行士と女性が写っている写真があるが、女性の表情は笑顔である。船橋の日本建鉄で女子学生の動員で雷電が製造された。入口に立っているマネキンの陸軍兵隊の軍装について、夏服である。銃弾は前に 30 発×2 箱、後ろに 60 発、小銃を合わせると 40kg となり、兵隊は行軍だけでも疲労・負担になる。

（竹内さんは、台湾で召集された体験に基づき、次のコメントを貰った。①銃弾は 5 発が連結している、②マネキンの兵隊の夏の服装は、南方方面部隊の開襟シャツである。展示は下着である。）

研究室での追加説明と質疑応答は次のとおり。

Q 貨車の車両数は？

A 有蓋車 2 両に弾薬、無蓋車に高射砲 4 門が偽装を凝らして積んであった。この偽装は漁網であったと思われる。上空から高射砲と認識するのは容易である。

Q 機関車は機銃掃射を受けなかったのか？

A 受けていたと思われるが、損傷は少なかったらしく、その日、機関車は銚子まで走っている。

Q 米軍上陸の情報は民間人も知っていたか？

A 沖縄の次は、鹿児島、九十九里に上陸するだろうと言うことは広く知られていた。軍が陣地を構築し、住民に自らの土地は自らで守れと言っていた。

Q 戦前は官尊民卑の考えや軍尊民卑考えがある。同じ成東駅空襲犠牲者も軍と民間を区分けしている。このような延長で戦後、民間人の補償が置き去りにされたのではないか。 A・・・

稲見さんから聞いた市民活動の資料は次のとおり。

○栗原克栄、県文書館古文書調査委員、1950年、出版社電話 043-36-4701

○春秋倶楽部、高木会長

稲見さんから頂いた資料は次のとおり。

○「激動の昭和の時代 戦中戦後を生きて」春秋倶楽部、平成 21 年 3 月、

○「陸軍下志津・八街・東金飛行場の役割－陸軍の司偵隊とその活動」、服部雅徳、八街郷土史研究会、平成 26 年 1 月

(5) 人物

竹内栄次郎さん：いただいた資料は、「九十九里町と米軍射撃場」3冊

竹内規久枝さん、

綿貫一男さん：用意していただいた資料は次のとおり。資料代 500 円払う。

○複写本「成東駅・終戦二日前惨事記録集」春秋倶楽部（代表小川洋）、平成 17 年 7 月

記事紹介：犠牲「駅員には 14 歳の少年職員や女性職員も」p2、職員の年齢 p3-4、

現場の惨状 p7、p41、東金飛行場艦載機攻撃 p40、勝浦駅銃爆撃ムスタング p43、

焼夷弾は千葉に行けばいくらでも集められる p47、小銃・帯剣等全くなき丸腰であった p56、無蓋車 4 両・有蓋車 2 両と線路図 p64

○DVD ダビング「礎～成東駅爆破－終戦二日前の惨事～」東京情報大学映像ゼミナール。内容の紹介：上映時間 13 分。証言者が登場するので真実味がある。

2. 「戦争と平和を学ぶ会」(匝瑳市)

午後 1 時 50 分から開始。会場に 50 名ほどの参加者。司会は野口さん、挨拶は中山さんが担当。いずれも東総歴教協のメンバーである。

古山豊さんが「豊海高射砲演習場」について ppt に基づき詳細に報告した。

高射砲の収納紙製筒や機関銃弾の実物を見せた。基地は昭和 32 年 5 月 8 日中止するまで継続した。九十九里の浜は、南から白里、豊海、片貝と続く。基地名は英語で KATAKAI CAMP、KATAKAI FIRING RANGE となっているが、実際は豊海である。ここが選定された理由は、①片貝は魚民数 578 軒が多いが豊海 24 軒と少ない。②重量物を運搬するのに川や橋梁を避けたい。基地の広さは 26 万 8 千坪、約 90ha。現在のサンライズ国民宿舎も含む。無人機のカタパルトが、今の智恵子抄敷地にあった。砂浜は滑走路にもなった。無人機は高射砲訓練の標的の長い吹き流しを曳航した。無人機は人間の大きさで、日本ではアカトンボと言われた。基地内部の写真は少ない。柴田等知事と米軍幹部の懇談写真があった。日本人労務者数は 50—60 人。基地内部ではテネシーワルツの音楽が流れていた。訓練回数で少ない月は 6 月と 12 月で、前者は梅雨時期、後者はクリスマス月が原因のようだ。

基地被害では、漁業被害、生活面では騒音振動、米兵による交通事故、パンパンが来るなどの風紀の乱れ、ヒロポン等の薬物、漁業ができないので貧困になり、児童を働かせたり、周旋屋がやってきて人身売買が起こったりした。漁業補償も親方にはなされたが、労働者まで補償されなかった。基地補償が片貝に優遇されるので豊海の漁民が要求したので、基地名は TOYOUMI CAMP と変更された。共産党が闘ったが、4 人が逮捕された。昭和 27 年講和条約が締結されても基地が返還されたのは昭和 35 年 5 月であった。しかし、海底には 10 万発の砲弾の破片が漁業の妨害をした。昭和 33 年 2 月 10 日に毎日新聞千葉版に基地の写真がある。

昭和 44 年 1 月 9 日に漁港ができて、「おっぺし」が姿を消した。ここはイワシが狙いで鯛やヒラメは雑魚扱いだったと言う。大きな船も盤木にイワシの油

を付けて裸で男女が引き上げたり、降ろしたりしていた。東京湾に臨海コンビナートができて若い住民、漁民は工場労働者になって漁業は衰退した。

人物：野口政和さん（銚子商業高校社会科）、中山さん（小見川高校・ボート部、修学旅行は沖縄にした）、樋口さん（銚子空襲の関係者）、古山豊さん（元東金高校校長、社会科専門）

3. 課題

(1) この調査・交流をきちんと残しておくか、ページ数、費用、部数、パワーポイント、DVD映像など検討する。写真も多く加える

(2) このような調査交流の第2弾を企画するか、季節、規模、県内外、県内の場合は睦沢町資料館、木更津市資料館等

(3) 千葉市内の空襲・戦争遺跡を、千葉市空襲刻銘碑を含めて撮影調査。冊子とDVD作成提案。こういう実績をもって市役所の協力を求める。

参考例は①「戦争遺跡 南房総に戦争の傷跡を見る」NPO 法人安房文化遺産フォーラム発行、初版2004年6月30日。A549ページ、600円。

②「礎～成東駅爆破～終戦二日前の惨事～」東京情報大学映像ゼミナール。

③県内の空襲、戦争遺跡も模造紙大にまとめて展示する（市川案）。協議・相談しながら合流する。

専門の編集委員会を作りましょうか。

参考資料

成東駅空襲調査・「戦争と平和を学ぶ会」（匝瑳市）参加・交流

（2012年1月29日（日）は午後から「旭市いいおかユートピアセンター。銚子空襲7月20日」）

1 具体的な目標

- 空襲被害者援護法、空襲戦傷者関係の到達点を知らせ、署名等協力を依頼。
- ピースフェアの参加など交流を相談する。
- 堤信一さんの手記(別紙)と河合さんの紙芝居で運動の交流をする
- 県下犠牲者数第 3 位の成東駅貨車空襲爆発事故の記念碑等を見学し、調査・交流する。(注)

2. 具体的な計画

集合場所・時間：2月6日(土) 8時、千葉駅 NTT 前のバス待合停車場

8時10分、千葉寺長谷川家墓地、長谷川治三郎さんは当時の殉死された成東駅長 39 歳。尾本ハルさんの兄が故長谷川駅長の元部下である。東京空襲被害者の河合家の墓もお参りする。

9時30分成東駅(現在は〒289-1345 山武市津辺)

12時00分、成東出発。途中昼食休憩。

13時30分、匝瑳市民ふれあいセンター、千葉県匝瑳市八日市場ハ 793 番地 35。

13時50分、東総歴教協主催「戦争と平和を学ぶ会」

16時30分、匝瑳出発、帰路。

18時30分、千葉駅到着

3. 協力関係者

本行寺境内の国鉄職員殉難者の碑(山武市成東 2565)、〒289-1326、TEL0475-82-1661)、元倡寺(がんしょうじ)境内の犠牲軍人の碑(山武市成東 2697、TEL0475-82-2028)、山武市歴史民俗資料館〒289-1324 千葉県山武市殿台 343 番地 2 0475822842 (月曜休館)、担当稲見英輔主査。

○綿貫一男さん 09046124808

○竹内栄次郎さん、竹内規久枝さん爆発証言者 08084272356。

○山武市ごきたさん回答 2016. 1. 13 : 名簿の管理はしていない。

4. 事前調査 1 月 19 日

(1) 本行寺 : 日蓮宗。住職の妻橋本としこさんの説明聞く。成東町史 19508. 13 に詳しい。事故時の住職は先々代。境内左に碑がある。国鉄職員の碑だけがあり、12 名の名前が刻まれている。年齢はない。女性が二人いる。

(2) 元倡寺 : 住職に聞く。軍人の空襲犠牲者だけの碑がある。この寺は元成東藩の家臣の墓地なので、軍人と国鉄職員は差別したらいい。その細長い碑「成東驛頭爆破戦没將兵之墓」(昭和 32 年 8 月 13 日建立) には氏名が刻まれている。戦時中、この寺に佐倉連隊の部隊が駐留した。杉の木に軍馬が繋がれていた。この寺の忠魂碑は波切り不動院にあったものであるが、不動院で引き受けられないと言うので頭部だけをここに移設した。

(3) 山武市歴史民俗資料館

(ア) 彼の示した平成 27 年度企画展の資料は次のとおり。

- ①太平洋戦争終結 70 年展 I 郷土危しー空襲下の山武地域ー
- ②太平洋戦争終結 70 年展 II 石と心に刻まれた戦争の記憶ー忠魂碑と従軍体験ー
- ③太平洋戦争終結 70 年展 平成 27 年度企画展 (チラシ)

(イ) 質疑応答

Q この空襲は無差別爆撃の一つか？

A 違う。この日は九十九里地方に空襲警報が出ていた。また、貨車には大砲が 4 門積んであったので艦載機は武器弾薬輸送貨車だと認識した。

Q どうして国鉄職員は逃げなかったのか？

A 艦載機は機銃を浴びせ、貨車から発煙した。発煙した貨車を駅から遠ざけて駅

舎や他の乗客らに危害が及ばないように考えた。軍人は武器を守ろうとした。

②の7ページに山武市在住女性退職教員の会による紙芝居がある。

○インターネットの情報から紹介

www.nhk.or.jp 「知られざる鉄道員の戦争」 テレビ放送番組

千葉県博物館協会 「Museum 千葉」 2008年3月、第39号に「歴史楽者への道」